

一人ひとりの夢・思いを大切に

福祉 しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 永田 元
 発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
 電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



令和5年10月22日（日）しなふく紅葉フェスタのオープニング、利用者と共に。「1.2.3 ヨイショー！」
 （中央：新井康副区長・中央左：渡辺ゆういち議長・中央右：永田元理事長）

こと、品川総合福祉センターは、これら
 協力が心から感謝申し上げます。また、
 営に心から感謝申し上げます。また、
 四十周年を機に、これからの法人運営
 について、次の十年間に取り組みべき
 新たな道筋を示す「第二次未来創造図」
 やその実現に向けて「第二次未来創造図」
 を策定いたしました。
 たし、品川総合福祉センターは、これら
 も、品川総合福祉センターは、これら
 最近の福祉を取り巻く環境の変化に適
 切に対応し、ご利用者や家族の皆さ
 んに喜んでいただける良質な福祉サ
 ビスを提供すること、そしてそれを支
 える職員の確保・育成すること、その
 ための経営基盤を確立すること、など
 多くの課題を挙げ、取り組み、
 法人の総力を挙げて取り組み、
 ます。総力を挙げて取り組み、
 引き続く皆様方のご支援・ご協力
 ほどよろしくお願ひ申し上げます。

らうんじ



理事長 永田 元

令和六年度
 今年の想いを四字熟語に託して
 新年のご挨拶



事務局長
寺嶋 清

有言実行

明けましておめでとうござい
 ます。有言実行とは、自分
 のやるべきことを声や文字で
 表現し、行動に移すこと。実
 行することは言うまでも無く、
 それ以上に「有言」に価値が
 あると考えます。言葉で表す
 ことは、周囲の人に伝えるだ
 けでなく、自分自身に宣言す
 ることであり、そうすること
 で目標を強く意識することが
 できます。一年の計は元且に
 あり。今年の目標を頭の中
 で思い浮かべるだけでなく、声
 や文字で「有言」して、より
 良い結果に繋げていきたいと
 思います。



施設統括
松木 利彰

竜頭蛇尾

明けましておめでとうござ
 います。初春を迎え、それぞ
 れが今年の目標を立て、計画
 を練っている年の初めです。
 法人内各施設でも来年度に向
 けて事業計画を作成している
 ところです。
 竜頭蛇尾Ⅱ「最初は勢いが
 あるものの、最後は尻つぼみ
 になる」ようなことにはなら
 ないよう、しっかりと計画を実
 行していきます。
 辰年は自分にとっても年男
 の年、節目の年になります。
 最後まで息切れせず一年間走
 り続けたいと思います。

至誠一貫

「何事においても誠の心で
 他人に接する」という意味で
 す。
 本年も「利用者への良い福
 祉サービスの提供」を進めま
 す。全職員が誠意をもち皆さ
 んと向き合い、寄り添って支
 援を進めます。

サンかもめ
 施設長 加藤 久明

精進自励

新しい年に向けて自分自身
 や、サービスを向上させてい
 くことを決意し、日々精進努
 力し、自らを鍛え、努力して
 行く心構えです。
 大井在宅介護支援センター
 大井第二在宅介護支援センター
 大井在宅サービスセンター
 施設長 宮田 健一

新春万福

新しい年を迎え、ご利用者
 と職員及び法人関係者の皆様
 に数えきれない幸せがあるよ
 う願い、支援をさせていただ
 きます。
 本年もよろしくお願いいた
 します。

かもめ園
 施設長 奥田 美紀

笑門来福

「笑う門には福来る」。
 「笑う」は幸せの源！そして
 長寿の秘訣とも言われていま
 す。全ての人が、笑顔いつば
 いの幸せな毎日でありますよ
 うに。
 中延在宅介護支援センター
 中延在宅サービスセンター
 施設長 小山 正子

戮力協心

みんなの力を合わせ、一致協力して仕事に励んでいきます。

八潮南特別養護老人ホーム
施設長 濱本 幸子

万里一空

一つの目標に向かって、ひたすら努力し続けていきます。

八潮在宅サービスセンター
八潮在宅介護支援センター
施設長 伊藤 直樹

虚心坦懐

関わる全ての人、事柄に対して、平静に臨む心で向き合っていきます。

八潮中央保育園
園長 矢島 真奈美

万物流転

状況が変化していくことを恐れずチャレンジして楽しもう。福祉工場しながわ

鮫洲なぎさの家
施設長 石川 勝則

進取果敢

大きな決断力を持って、失敗を恐れずに取り組んでいきます。

さつき
施設長 日高 昭芳

行雲流水

執着することなく、事に従って粛々と行動していければと思います。

八潮北保育園
園長 細根 真紀

竜吟虎嘯

職員と意思や気持ちを通じ合い、相応じ、チャレンジしていきます。

心身障害者福祉会館生活介護障害者訓練センター
館長 萩原 幸寿

一致团结

今年も最高の仲間と心ひとつに協力し合い、最高のケアを実践します。

中延特別養護老人ホーム
副施設長 米原 康之

心機一転

何事にも常に前向きな気持ちで臨んでいきます。

障害者相談支援センター
(中延・大井第二・八潮)
地域活動支援センター逢旗の台障害児者生活支援センター施設長 吉澤 利恵

変態百出

外部の変化に対応できるよう演技力・変装等を磨いていきたい。

心身障害者福祉会館生活介護
副施設長 星野 裕矢

初志貫徹

初めに持った目標や考えを最後まで貫き通す強い人になりたい。八潮南特別養護老人ホーム副施設長 滝澤 秀明

明鏡止水

煩惱だらけの自分から生まれ変わります。

かもめ園
副施設長 三日月 透

捨我精進

人を愛し自分の為すべきことに全力を尽くします。

大井三丁目高齢者憩いの場
管理者 齊藤 恵里

し

な

ぷ

く

さんぽ

vol. 8

品川区の興味深い場所・旬な情報を、編集委員が足を運び取材し、シリーズで年1回お届けしています。「しながわ歌留多」※の『も』の文字札は『モース博士 大森貝塚 大発見』。今回は、大森貝塚についてご紹介します。品川区と大田区にあり、国の史跡に指定されています。貝塚に因んだお菓子もあるようです。散歩がてら立ち寄ってみてはいかがでしょうか？



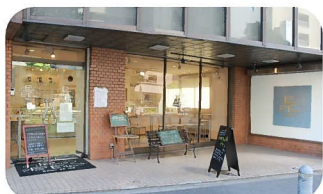
※スラップショット制作



大森貝塚庭園に取材に行きました！

大森貝塚は品川区と大田区の区境にある縄文時代後期の貝塚遺跡です。一八七七年、貝の研究をしていたエドワード・S・モースにより発見されました。貝塚とは大昔のゴミ捨て場で、発掘作業の時には貝以外にも動物の骨・土器・石器など様々なものが見つかっており、日本初の学術的発掘として知られています。大森貝塚に関する石碑は、品川区側の遺跡一帯に整備された大森貝塚遺跡庭園内と、大田区側の2カ所あります。

編集委員となつて品川区立大森貝塚遺跡庭園へ取材に出かけました。夏休みの子どもたちが駆け回る中、利用者と取材を開始し、貝塚を模した壁を撫でたり、広場にあるモース博士の像を見て、「知ってる！昔習ったね！」と子ども時代の記憶が呼び起されていきました。庭園の裏手にある貝塚標本を眺めながら「これ食べてたの？」



パティスリープティエデン 可愛い洋菓子店！

「何に使ってたのかな？」と縄文時代に思いをはせる、楽しい時間になりました。大森駅近辺にある洋菓子店のパティスリープティエデンでは、「大森貝塚マドレーヌ」も販売している。



貝のオブジェの中へ

喜んでくれる方もあります。大森貝塚マドレーヌを5種類で試食させていただきます！



味は5種類です (黒ゴマ・はちみつ・かぼちゃ・抹茶・黒糖)



大森貝塚マドレーヌいただきます！

令和五年度 四年ぶりに
しなふく紅葉フェスタ開催!

去る十月二十二日（日）、四年ぶりの「しなふく紅葉フェスタ」が開催されました。午後の一時開場前より、センター前には入場を待つ列が出来ました。オープニングでは、新井副区長のご挨拶を頂戴し、四十周年を祝う祝い樽の鏡開きと、八潮学園吹奏楽部の皆さんの演奏で、華やかに開会しました。会場は施設の利用者・ご家族・地域区民の皆様が、会場いっぱいにあふれました。

施設利用者によるリズム舞踊の他、森のひかりの皆さんによる手話舞踊、八潮太鼓之会の演目が披露されました。ステージ最後には、リメイクした着物のファッションショーが行われました。「八潮ハーモニー」の渡辺さんがリメイクした着物を、施設利用者・職員・当日参加の地域区民の方々が好きなものを着用し、一人ひとり、赤い絨毯のランウェイをウオーキングしました。普段人前に出ない利用者もとびっきりの笑顔で堂々と歩かれました。会場内には、模擬店の他、指一本で測れる測定器を体験し、薬剤師や栄養士に相談できる「健康活動コーナー」、水引アクセサリーのワークショップ、無料プレゼントコーナーなど、一部制限がある中でも盛りだくさんの内容で、楽しんでいただきました。「地域とともに」盛り上がった一日となりました。



利用者も週1回練習、頑張りました



八潮学園吹奏楽部

着物リメイクファッションショー

利用者・ご家族・職員・地域の皆さんと共に楽しみました

八潮太鼓之会

手話舞踊

着物リメイク
名人の渡辺さん

品川区功労者表彰

今年度も当法人より2名受賞！！

昨年十月一日に「令和五年功労者表彰」において、中延複合施設施設長・小山正子並びに福祉工場施設長・石川勝則の両名が表彰されました。この表彰は、品川区表彰条例に基づき、区民の生活と文化の向上に特に功労があったものの実績をたたえることにより、区民の福祉増進に資することを目的として区長より表彰を受けるものです。二人より、一言ずつご挨拶させていただきます。

利用者、地域の方、事業所の職員に「おめでとう」と声を掛けて頂きとても嬉しく思いました。沢山の方々



左：小山施設長、中央：理事長、
右：石川施設長

に支えられこれまで続けることが出来ました。ありがとうございます。これからも頑張ります。

品川総合福祉センターへ平成六年に入職してから早二十九年。三十年を前にこのような誉れをいただき誠に光栄極まりない事だと感じております。これからも品川区の福祉の発展に寄与していく所存です。

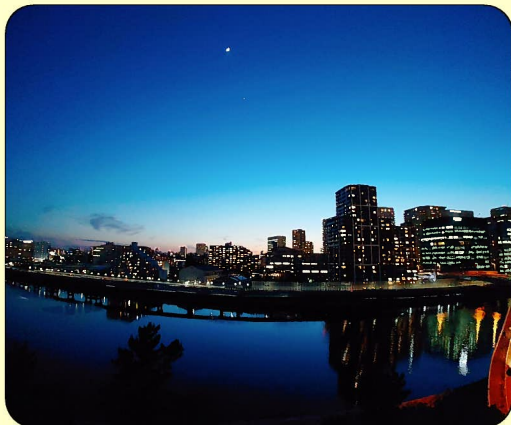
石川勝則



しなぶくの窓

このコーナーは、普段は目に留まりにくい事業所内の「素敵なもの」を紹介するコーナーです。

季節は初夏のある日の夕暮れ時。本部センターの屋上から運河の方を眺めた時の写真です。八潮の運河と川面に建物が写っています。撮影者は編集委員。



かもめ園 新製品紹介

かもめ園身体部門は、日中活動の一環として軽作業と創作作業を行っています。

今回は創作作業でビーズの新商品を紹介します。アニマルキーホルダー（三百円）とスネークパールネックレス（八百円）です。ご利用者が何度も失敗しながら取り組んだ製品です。

バザーで見かけた際にはお手に取って見てください。



アニマルキーホルダー
(くま・300円)
他カエル・ウサギ



スネークパール
ネックレス
(800円)